

原水爆禁止 2010 年世界大会・科学者集会

核兵器廃絶の流れを一層大きくしよう

日時：2010 年 8 月 1 日（日）午前 10 時（9 時半開場）～午後 4 時半

会場：静岡県職員会館（もくせい会館）富士ホール（静岡市葵区鷹匠 3-6-1、電話 054-245-1595）

参加費：会員・一般 1000 円、 大学院生・学生 500 円

（どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ）

オバマ大統領の「核兵器のない世界」に向け核兵器保有国の責任を明確にしたチェコプラハ演説以来、多くの問題を抱えつつも世界は核兵器廃絶に向けて動き出しつつあります。2010年4月8日にはオバマ米大統領とメドベージェフ露大統領はプラハで戦略兵器削減条約(新START)に調印しました。2010 NPT 再検討会議の成果を踏まえ、核兵器廃絶運動は内外ともに新たな段階を迎えつつあります。私たち科学者会議は、今回、静岡市で23回目の原水爆禁止世界大会科学者集会を開き「核兵器のない世界」を実現するために何をなすべきかを議論します。静岡の地から、強いメッセージを世界に発信しましょう。

基調報告

「原水爆禁止世界大会・科学者集会を取り巻く情勢と課題」

浦田賢治（早稲田大学名誉教授）

報告

「新たな激動の中の日米同盟再編 沖縄の基地「移設」から見えること」 亀山統一（琉球大学）

「米口新核軍縮条約と米国の核態勢見直し（NPR）」 沢田昭二（名古屋大学名誉教授）

「2010 年 NPT 再検討会議に参加して」 畑哲也（静岡大学学生）

「原子力平和利用と核拡散」 野口邦和（日本大学）

「焼津平和賞の創設とその意義」 佐藤博明（元静岡大学長）

海外代表の特別報告

「米軍の欧州における戦術核兵器撤去の動きについて」

ライナー・ブラウン（ドイツ反核法律家協会事務局長）

